令和６年度　北海道教育大学岩見沢校芸術・スポーツ文化学科音楽文化専攻
一般選抜（前期日程）　音楽教育・音楽文化コース 実技検査問題「ア」（実施時間６０分）

受験番号		得　点	/400点

問Ⅰ．　次の①～⑥の文章で説明している楽器の名称としてふさわしいものを選択肢（あ）の中から選び，解答欄にその名称を書きなさい。

（各5点×6＝30点）

① 15世紀から合奏や歌曲の伴奏などで愛用された撥弦楽器。その起源はアラビアのウードと言われる。

② 16世紀前半に登場したヴァイオリン属の弦楽器で，バロック時代には主に通奏低音として用いられていた。のちに，J.S.バッハ等の作曲家が独奏楽器として用いた。

③ イランの代表的な弦鳴楽器。木製の共鳴箱に張られた数十本の金属弦を，両手にそれぞれ持った木製のばちで打ち鳴らす。同種の楽器がルーマニアやハンガリーのツィンバロム，中国の揚琴など，各地に見られる。

④ オスマン帝国時代に生まれたトルコの軍楽隊「メヘテルハーネ」のリード楽器。

⑤ 中国の擦弦楽器の一つで，蛇皮を張った胴体から伸びた細い竿に2本の弦が張られている。2本の弦の間に挟まれた弓で弦を擦って音を出す。

⑥ 爪が内部の弦を弾いて発音する仕組みの鍵盤楽器で，バロック時代には独奏曲や通奏低音に使用された。ハープシコード，クラヴサンとも呼ばれる。

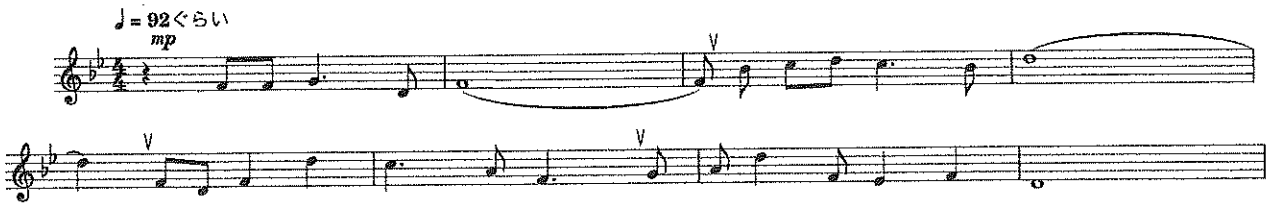
【選択肢（あ）】

バラフォン　　サントゥール　　二胡　　ズルナ　　テルミン　　チェンバロ
リュート　　ジューズハープ　　チェロ　　トラヴェルソ　　タブラー

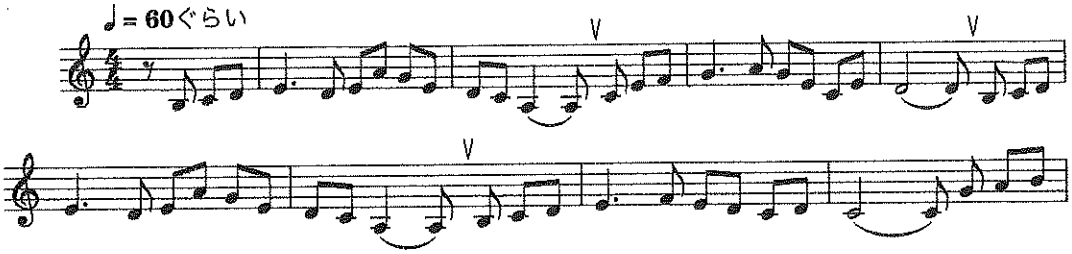
問Ⅱ.　次の譜例①～⑤は国内外の民謡・ポピュラーソングの一部を表したものです。曲名を選択肢（い）の中から，曲発祥の地名（国名や地方名）としてふさわしいものを選択（う）の中から選び，解答欄にその記号を書きなさい。

（各5点×10＝50点）

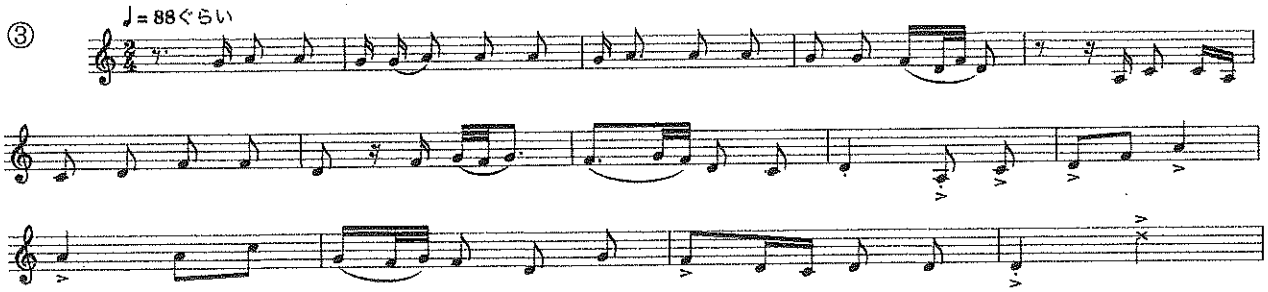
①



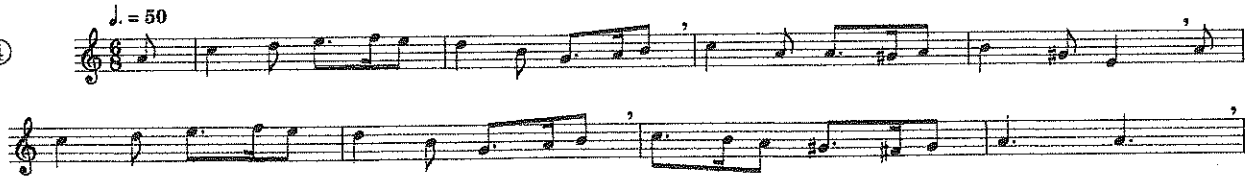
②



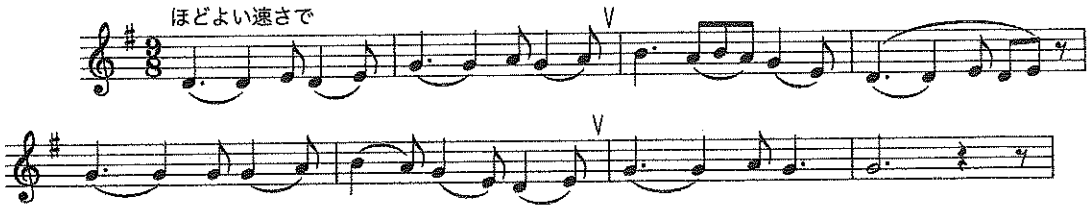
③



④



⑤



【選択肢（い）】

A. ブンガワン・ソロ　B. Santa Lucia　C. アリラン　D. グリーンスリーブス

E. Danny Boy　F. こきりこ節　G. 草原情歌　H. ソーラン節

I. コンドルは飛んでいく

【選択肢（う）】

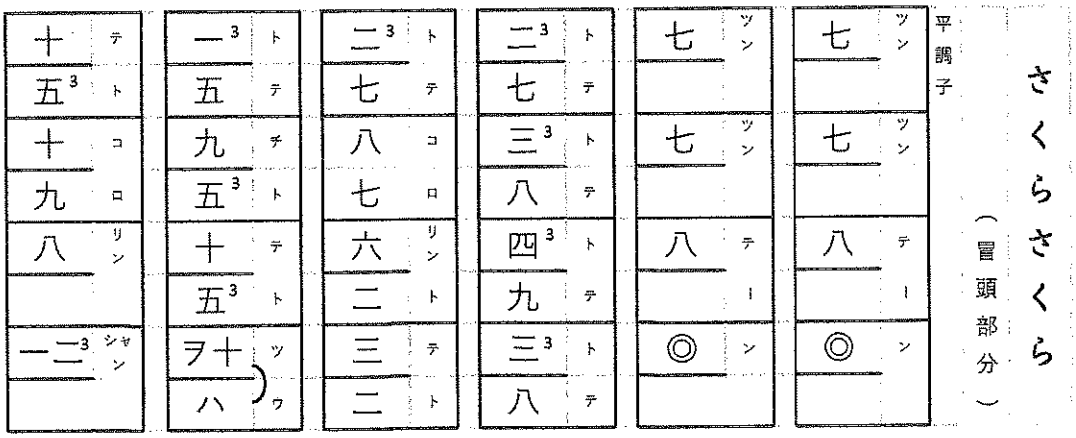
a. 富山県　b. アイルランド　c. 中国青海省　d. 北海道　e. 朝鮮半島

f. ナポリ　g. アメリカ　h. イングランド　i. アンデス地方　j. インドネシア

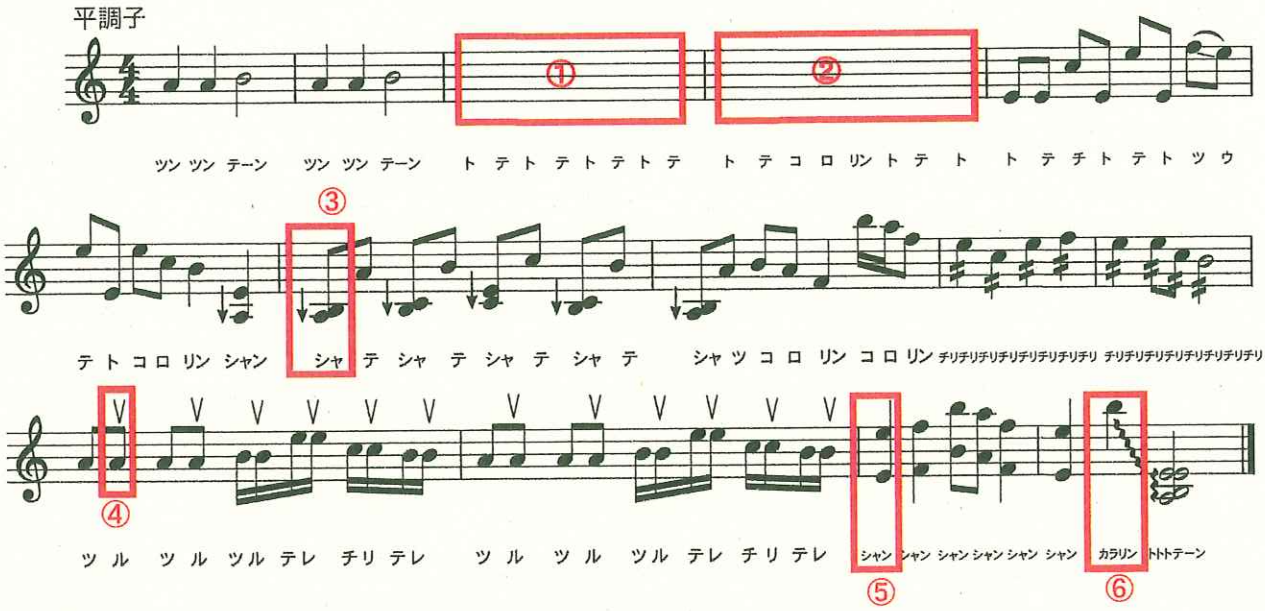
問Ⅲ. 次の２つの譜例Ａ・Ｂは日本古謡《さくらさくら》を箏曲用縦譜（冒頭部分）と五線譜（全体）で表したものです。譜例Ｂの空白部分①，②（①：３小節目，②：４小節目）を解答欄の五線譜上に書きなさい。また，五線譜上の③～⑥に相当する箏の奏法名としてふさわしいものを選択肢（え）の中から選び，解答欄にその名称を書きなさい。

（①～②は各 15 点×2＝30 点，③～⑥は各 5 点×4＝20 点，合計 50 点）

譜例Ａ



譜例B



【選択肢（え）】

スクイ爪　押し手　引き色　流し爪　合せ爪　掻き爪　割り爪　つき色

問Ⅳ.　次の①～⑩の下線部について，正しいものには○を，間違っているものには×を，それぞれ解答欄に書きなさい。

（各5点×10＝50点）

○ 普化宗の僧（虚無僧）が修行のために演奏した音楽を「普化尺八」と呼ぶ。それ以前にあった尺八として，古代中国から雅楽の楽器として伝来した「雅楽尺八」や室町時代に中国から伝来したされる ①一節切（ひとよぎり） などがあった。

○ 八橋検校の作曲とされる『六段の調』は，「段物」と呼ばれる歌を伴わない純器楽曲の一種である。それと並んで箏の伴奏を伴った歌曲 ②「組歌」 は箏の伝承上，重要な位置を占めている。

○ ③ タブ（タブラチュア）譜 とは，ギターなどに使われる記譜法で弦の押さえ方を示した楽譜である。ギターで移調した演奏をするために用いる演奏補助器具を「カポタスト」と呼ぶ。これをギターのフレットに装着して使用すると，フレットごとに ④ 全音 ずつ，調が高くなる.

○ 1450年頃には，グーテンベルクが活版印刷技術を発明した。その後，1501年には ⑤ ペトルッチ がそれを楽譜印刷に適用したことで楽譜の大量印刷が可能となった。音楽作品が時代や国を超えて多くの人々の共有されることになる。

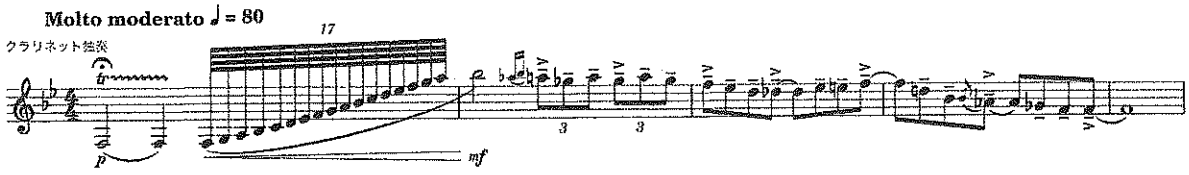
○ 1945年に第二次世界大戦が終結すると，ヨーロッパの作曲家たちはナチズムから解放されたこともあり，一気に前衛的，実験的な音楽へと突き進んだ。フランスの ⑥ アントン・ヴェーベルン が十二音技法の考え方を音の長さなどにも適用した ⑦「トーン・クラスター」 と呼ばれる作曲技法を実践した。また，外界の音をテープに録音して変調する ⑧「ミニマル・ミュージック」 や，サイン波を合成してさまざまな音高や音色を得る「電子音楽」が誕生した。

○ ルネサンスの時代には，複数の声部を持つ「多声音楽 (⑨ ポリフォニー)」が大きく発展する。中でも，後期ルネサンスを代表する教会音楽の作曲家 ⑩ ヨハン・セバスティアン・バッハ の作品は多声音楽の理想的な様式とみなされ，後世の模範となった。

問V．　次の譜例①～④と各譜例の下に記されている曲および作曲者に関する文章について，その空欄に最も適した用語を選択肢（か）から選び，解答欄に記号で書きなさい。

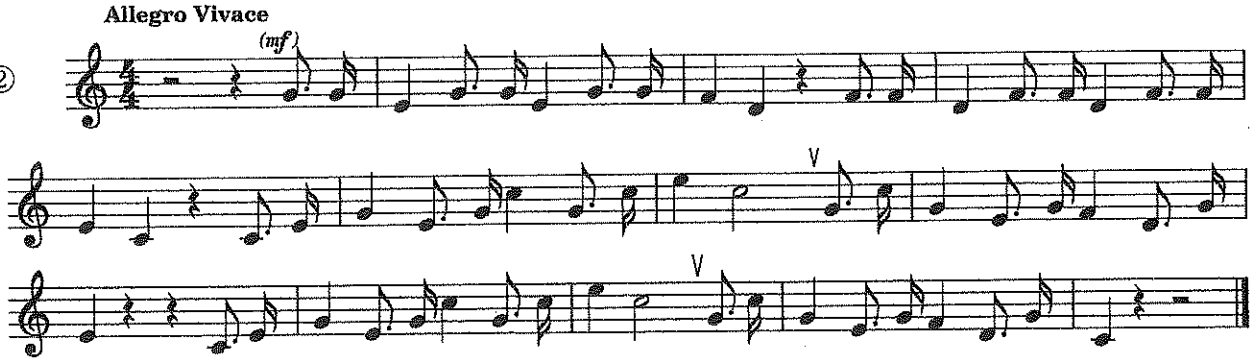
（各5点×20＝100点）

①



『（ ①-1 ）』は，1924年にジャズ・バンドの指揮者ポール・ホワイトマンが（ ①-2 ）に委嘱して作曲された。この曲はクラリネットの上行する（ ①-3 ）に始まる。全体を通して（ ①-4 ）音階が使用されている。（ ①-2 ）はこの作品を機に次々と管弦楽作品に取り組み，その作風は「シンフォニック・（ ①-5 ）」と称された。

②

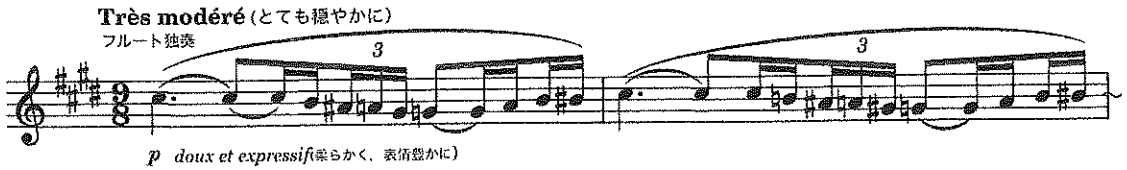


《(②-1)》は,(②-2)作曲のオペラ『(②-3)』の第1幕 第8場で歌われるアリアである。(②-2)は『(②-3)』などのユーモアの要素を含んだ喜歌劇(②-4),『皇帝ティートの慈悲』など古典的でシリアスなオペラ,そして『(②-5)』などドイツの民衆的な歌芝居から発したセリフが入ったオペラ(ジングシュピール)といった,さまざまなタイプのオペラを作曲した。

③

ヴァイオリンの(③-1)として各国で高い人気を誇った(③-2)は,自ら演奏するために高度な技巧を要するヴァイオリン曲を数多く作曲した。『(③-3)』は1800年から1810年頃に作曲されたヴァイオリンの独奏曲で,左手による(③-4),さまざまな重音奏法など,当時としては斬新な奏法が駆使されている。特に有名な第24番は,16小節の主題をもとにした(③-5)でフランツ・リストやセルゲイ・ラフマニノフなどがこの主題を用いた曲を残した。

④



『(④-1)』は(④-2)が作曲した管弦楽曲で,1894年に初演された。この曲の冒頭はフルートによる16分音符と(④-3)を効果的に組み合わせた中心主題に始まる。増4度という不安定な音程を外郭にもつこの主題は反復されるたびに少しずつ形を変える。(④-2)は中世の音階や(④-4)を用いて,それまでの音楽の響きから脱却した(④-5)の音楽によって近代音楽の扉を開いた。

【選択肢（か）】

A. グリッサンド　B. 印象主義　C. リヒャルト・ヴァーグナー　D. ニコロ・パガニーニ

E. もはや飛べまい，この蝶々　F. クロード・ドビュッシー　G. フィガロの結婚

H. ウジェーヌ・イザイ　I. ラプソディー・イン・ブルー　J. スケルツォ　K. 五音音階

L. 魔笛　M. 新世界より　N. ジョージ・ガーシュイン　O. ピッツィカート　P. ロック

Q. 無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ　R. ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

S. 牧神の午後への前奏曲　T. ヴィルトゥオーソ　U. 組曲　V. フレデリック・ショパン

W. ジャズ　X. 3 連符　Y. 変奏曲　Z. オペラ・ブッファ　a. 24 の奇想曲　b. 楽劇

c. ホモフォニー　d. ブルース

問Ⅵ.　次の①～⑩の楽器が，日本の雅楽の「管弦」で用いられる楽器かそうでないかを分類し，解答欄に記号を書きなさい。

（各 2 点×10＝20 点）

① 締太鼓，② 笙，③ 鉦鼓，④ 平家琵琶，⑤ 小鼓，

⑥ 尺八，⑦ 三味線，⑧ 胡弓，⑨ 神楽笛，⑩ 篳篥

問Ⅶ. 現代日本の音楽科教育が抱える「問題とその解決方法」について，具体例を挙げながらあなたの考えを論述しなさい。（100 点）